

観光社会資本の事例

テーマ	戦国時代・朝倉氏一族の歴史を語る一乗谷川	
【施設の状況写真】		
		
<p>左岸側には、史跡公園事業の一環として立体復元された武家屋敷があり、河川管理用通路等を活用して右岸側の領主館をつなぐ史跡公園歩行ネットワークを形成している</p>	<p>発掘・復元された文化財と調和した水辺空間を目指し、発掘された遺跡の一部(石垣)を河川の護岸の材料として歴史的景観に配慮し、堤防の緩傾斜化を図っている</p>	
【施設の利用写真】		
		
<p>小中学校のハイキングコースになっており、水に親しめる空間となっている</p>	<p>石積み護岸部はホタルを代表とした生物環境の保全に配慮していることもあり、周辺では毎年、ホタル祭りが開催され、多くの観光客が訪れている</p>	
【観光資源としての利用状況】		
<p>戦国時代の城下町の跡である特別史跡「一乗谷朝倉氏遺跡」では発掘・整備が進み、特に領主館から川向の武家屋敷跡では家屋の復元も行われ、福井県を代表する名所となっている。毎年、拠点地区を会場とする「越前朝倉戦国まつり」をはじめ、年間24万人の観光客が訪れている。遺跡を貫流する一乗谷川ではふるさとの川として認定されると共に、地域再生計画として「越前一乗谷戦国ロマン再生計画」が策定されており、「戦国の川再現」をめざした史跡公園と河川改修の一体整備により、多自然型治水対策を進めている。</p>		
		

テーマ	戦国時代・朝倉氏一族の歴史を語る一乗谷川
【社会資本の基礎データ】 ○名称 九頭竜川水系 一級河川 一乗谷川 ○所在地 福井県福井市安波賀町～西新町 ○事業名 広域基幹河川改修事業 ○事業主体 福井県 ○事業期間 昭和63年～平成24年	
【社会資本の役割・効果】 ○治水効果 一乗谷川は、治水安全度が極めて低く、重要な遺跡地区や民家等を洪水被害から守るため早急な整備が求められていたところであるが、平成16年7月18日の福井豪雨により、床上浸水62戸、床下浸水39戸、浸水面積43haという甚大な被害を受けている。この災害を受け、本事業と災害復旧事業による改修および復旧を図ることで、現況流下能力を約30m ³ /sから計画流量160m ³ /sまでに高め、10年に1回程度の確率降雨量による洪水を安全に流下させ、沿川の家屋や公共施設等の浸水を防止します。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 福井県土木部河川課 http://www.pref.fukui.jp/ 福井市商工労働部観光課 http://www.city.fukui.lg.jp/ (社)福井市観光協会 http://www.fukuicity-navi.com/top.html	